

区分・種別	重要文化財（工芸品）		
名 称	どうしょう 銅鐘 1口		
所 在 地	大洲市豊茂		
所 有 者	出石寺	管 理 団 体	
指定年月日	大正7年4月8日		
解 説	<p>総高69.0cm、口径47.6cmの銅鐘である。</p> <p>竜頭のそばに円筒形の旗さしの部分が付けられ、3列3重に乳の間を設け、これを包んで方形に唐草、蓮弁の文様を配している。下部の鐘腹には、中央に仏体の坐像をおき、この両面から<small>きざ</small>跪座天人像2体を配した優雅な文様が鑄出されている。</p> <p>朝鮮の高麗王朝時代（918～1392年）の製作で、いわゆる朝鮮鐘である。慶長3（1598）年、<small>とうどうたかたら</small>藤堂高虎が朝鮮出兵の際に持ち帰り出石寺に奉納したといわれている。</p>		

